

令和元年度 延岡市立旭中学校 学校関係者評価書

段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
------	--------	-----------	------------	----------

本年度の重点目標	学力の向上	心の教育の充実	健康・安全・体力の向上	夢・自信・誇りの育成
----------	-------	---------	-------------	------------

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	記評価	段階	学校関係者評価コメント
学力の向上	1 基礎・基本の徹底 個別のニーズに対応した きめ細やかな指導	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修でも取り組んだが、成果がでたかわからない。 学習支援体制は、共通理解と見直しを早めにする。 生徒の書く文章が着実に向上。考える力の成長がある。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 宿題や教材の忘れ物が多く改善が見られないため、保護者を巻き込んだ学校全体の「忘れ物絶滅運動」展開が必要である。 授業中に一部のざわついた生徒がおり、真剣に授業に取り組んでいる生徒の迷惑となる。ルールやマナーの指導が必要である。 (はげまし隊として、数学・英語の授業に参加して) 生徒の授業内容の理解度に大きな差がある。理解できない生徒へのフォローがますます必要である。 各家庭の環境や保護者の意識が様々で、そのため、家庭での学習習慣の定着度にも開きがある。家庭学習、スマホ、ゲーム等の問題は保護者による対応が必要ということ、(子ども達が将来社会で自立して生きていくために) 人の助言等を、自分に関係ないと思わず、聞いて理解しようとする姿勢等、今学ばべき大切な内容を保護者へ啓発する必要がある。 相互参観授業への参観は、ある程度割り当て等の参観も必要である。 有効に地域人材を活用できるよう協力していきたい。 「読解力」の低下については気に掛かる。
	2 思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材を活用したこと、新しい発見や学びができた。 はげまし隊やメンターの方の面接練習等充実していた。 社会人メンターのおかげで有意義な学習を行うことができた。 地域人材の活用に学年差あり。～総合の担当者会でしっかり話し合いを進める。 学年を越えた表現活動の場の設定・工夫。 	3		
	3 指導力の向上 分かる授業、生徒が主体的に学ぶ授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善につながった。 相互参観授業継続を積極的にしたい。 他の先生への授業参観は少なかったが、見ていただいた感想等は役だった。 期間を拡大し、いつでも参観できるとよい。 他学年、他教科間で様々なテスト結果の分析や、その共通理解が必要。 空き時間の関係であまり参観できなかった。 主体的に学ぶ姿勢の育成が不十分。 	3		
	4 学習基盤の整備 学習規律、家庭での学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 「読解力」については年々下がってきていると思う。 低学力の生徒への対応が難しかった。 係活動を中心にきまりについて守ることができた。 	3		
心の教育の充実	1 社会性の涵養 あいさつ、返事の徹底等、 社会生活の基盤となるルールやマナーの育成	<ul style="list-style-type: none"> はげまし隊の方などへのあいさつができていない。 教員による積極的なあいさつ運動、学校ごとのあいさつ運動が効果があった。 あいさつは大きな声と自主性がまだ、徹底されていない。 あいさつをする生徒としない生徒の差がある。指導が必要。 ルールやマナーについて、あらゆる場面で統一し、共通理解すれば安心な学校になる。 学年差はあるがあいさつ等とてもよい。 学校内外であいさつに差がある。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 人の話を聞く耳と、声を出して話ができる素直な生徒の育成。 昨年度からの不登校生徒の対応はどうなっているのか。前任の校長が、生徒指導担当教師を配置しなかったのが影響したのでは？という発言をされたこと記憶しているが、今年度の人事に反映されたのだろうか。 あいさつ運動は、全体的に良くなっているが、1年>2年>3年の傾向は変わらないようだ。なお、授業中の教師に対する返事は必ずしも良いとは言えない。 今年度も富栄山地区区長連合会主催の草刈り作業に多くの生徒の参加があり、生徒の奉仕作業が定着したと考える。 あいさつ、ルール、マナーなど、子ども達だけに言うのではなく、周りの大人達がしっかり手本を見せることも大切だと思う。 あいさつができていないのが気になる。学校、保護者を含め、真剣に取り組む必要がある。外部指導者を増やすのも一つの手立てと考える。 ボランティアに関して、自主性についての相反するコメントが気になる。 ボランティア活動の主体性に欠ける部分が気になる。
	2 自尊感情、人権意識の醸成、 豊かな人間関係を築くためのスキルの醸成	<ul style="list-style-type: none"> 学校の課題に応じた人権学習等の取組が必要。 道徳や人権教育について、全体での講話や授業が実施できなかった。 学期1回の人権教育を実施する。 自分たちで問題解決する力が身に付いていない。 	3		
	3 自ら考え、判断し、行動する 主体性のある生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動、生徒会活動は活発に行っているが、自主性がまだできていない。 指導はしているが、目指す姿には至っていない。 「学びをつなぐ」を意識した指導での積み重ね 	3		
	4 人間関係の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> 自主的にボランティア活動に参加する生徒が多く、奉仕の精神がある。(2) 昨年度より、組織としての動きが明確になった。 	3		
健康・安全・体力の向上	1 体力や運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の運動部活動加入率は約60%であるが、社会体育に参加している生徒も含めるとかなりの生徒が運動系の活動に積極的である。 部活動の指導において、専門的な指導のできる人材の不足が課題である。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 市内中体連大会において、女子ソフトテニスや、バスケットボール等の活躍は、今年度も健在であった。また、市内の社会体育で個人として活躍している生徒も多くいて頼もしいです。 望ましい生活習慣とは何か、なぜそれが必要かを、生徒、保護者によく理解してもらえるよう働きかけを続けることが大切だと思う。個人的には運動系の部活動加入率の数字を気にしなくてもよいのではないかと、スポーツでもそれ以外でも放課後や休日に有意義に過ごせればよいのではないかと。 部活動については、指導体制強化と、部活編成も視野に入れ、外部指導者との研修で質の向上をしていく。 学校保健委員会等の保護者参加率が低いことは、全体で考えて行かなければならない。
	2 望ましい生活習慣の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会の保護者参加率が低い。意識付けが必要。 望ましい生活習慣についての指導をした方がよい。 	3		
	3 安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検と修繕が徹底していた。(2) 地域防災学習はどの学年も充実していた。 	4		
	4 食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 3月の弁当の日を前に栄養教諭の話は予定されているが、学年・学担の授業がない。 食の大切さ等の講話を取り入れたい。 食育が弁当の日の指導に傾いている感がある。 	3		
夢・自信・誇りの育成	1 キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 取組に学年差がある。(2) 旭中としての方針を明確に 総合の時間を利用して地域人材を活用し、キャリア教育をすすめることができた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 工業都市延岡は、世界に誇れる企業が多く、延岡市民の誇りである。このような環境に生まれ育った生徒が活動している「プロジェクト型学習」・・・問題発見解決型学習を学んだ事は、生徒の大きな自信につながったものと思う。 1年生の「地域交流会」は、積極的に交流している生徒もいれば、消極的な生徒がいることも事実で、日頃の授業と異なった一面を見ることができた。 生徒一人一人が、自己の存在を肯定できるよう、周りの大人達が、彼らとの接し方や言葉かけを考慮することが大切だと思う。 地域人材の活用、社会人活用は良いこと。 地域への意識の低さは生徒ではなく、保護者を含めた大人の意識が低いからと思う。 コミュニティスクールに参加、協力していきたい。
	2 保護者・地域との連携充実	<ul style="list-style-type: none"> 「地域のために」という意識は、生徒達の中では高くないと感じる。 	3		
	3 教職員評価・学校評価の活用	<ul style="list-style-type: none"> 教職員評価シートのフィードバックを参考に校務を進める事が出来次年度に反省を生かす形ができた。 今後も活用していきたい。 各行事の目的を明確にするよう努めた。 	3		
	4 校内コンプライアンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、点検や研修を行い職員の意識も向上してきた。 風通しのよい学校組織を目指し、報告・連絡・相談を促した。 	3		

〔次年度の方向性についての校長所見〕 ※ 関係者評価書を、令和2年度の学校経営ビジョンに具体的に反映させていく。

特に以下の項目については重点的に取り組む

- 1 学習習慣の徹底 (学習用具の準備、小中共通実践事項、チャイム黙想、返事、授業態度)
- 2 生活習慣・社会性の涵養 (あいさつ、返事、ルール、マナー指導、自己有用感の育成)
- 3 部活動指導の強化
- 4 総合的な学習の時間を中心としたキャリア教育の推進。